

## 八丁原発電所周辺の牧ノ戸登山道整備活動を実施しました

5月15日（金）、大分県玖珠郡九重町の当社八丁原発電所（110,000kW、1977年6月運転開始）が立地する地域で、「九重の自然を守る会」の皆さまと共同で牧ノ戸登山道整備活動を実施しました。八丁原発電所は地熱発電所として地域とともに歩んでおり、今回の活動もその一環として実施したものです。

本活動は、牧ノ戸登山道の整備と、くじゅう連山の初夏の風物詩であるツツジの一種ミヤマキリシマなどの自然保護を目的に、1981年から45年にわたり継続しています。ミヤマキリシマの開花前に、今年度も環境省や九電グループ会社の協力を得て、総勢40名で登山道における水はけ用の溝の整備を行いました。

当日は快晴のもと、新緑と青空のコントラストを楽しみながら安全第一で作業を進めました。多くの登山者の皆さまからは「ありがとうございます」「お疲れさまです」と感謝の言葉をいただきました。

九電みらいエナジーはこれからも地域の皆さまとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



当日の様子と完成した水切り（右下）